

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	5 教育内容等の改善措置
中項目	
小項目	5.0.1 教育内容等の改善措置
要素	①教育の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究が、組織的かつ継続的に行われていること。 ②会計大学院における実務家教員における教育上の経験の確保、及び研究者教員における実務上の知見の確保に努めていること。

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 広く教員が情報共有できるしくみを構築する。	→教員相互の研究発表によるFD研究会の開催回数・参加者数、FD講演・セミナー等の開催回数・参加者数	C	C	/	/	/
2. 実務家教員における教育上の経験及び研究者教員における実務上の知見の確保のしくみを構築する。	→授業参観への呼びかけ、FD研究会の開催(新規追加)	C	C	/	/	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし	/	/	/	/	/
なし	→なし	/	/	/	/	/

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目5.0.1	5.0.1 教育内容等の改善措置 (説明) 教育の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究について、教員の授業参観の機会が毎年2回設けられ、そのフィードバックの会議が専任教員全員で行われてきており、今年度も実施予定である。なお、実務家教員における教育上の経験及び研究者教員における実務上の知見の確保については、上記の授業参観のフィードバック会議において実施している。
その他	

《評価指標データ》

☆	
☆	
☆	

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
★	小項目5.0.1	
	その他	
《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
★	小項目5.0.1	
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★	その他 (自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

- 実務家教員と研究者教員の経験や知見の交流は重要ですので、今後も充実させていってください。
- 学生による授業評価をFDに活かされているかと思われます。そうであるならば、その記述も必要ではないでしょうか。
- 教育内容等の改善措置として、授業参観とそれについてのフィードバック会議は評価できますが、物足りない印象です。教員相互の研究発表によるFD研究会、FD講演会、セミナー、授業評価アンケートのフィードバック等、方策はあると思います。
- 昨年度、授業評価アンケートについて追加記述されています。本年度の現状説明においても記述いただきたい内容です。
- 昨年度の学内第三者評価において、「2008年に受診した分野別認証評価に関する要望事項（「とくに授業評価アンケートの集計結果については、学生・教員へのフィードバックのみでなく、個人情報保護に配慮の上、ホームページを活用して公表されることを検討されるよう要望する」「学内のFDを活用して、研究者教員・実務家教員が相互に報告し議論することにより、相乗効果を発揮できるような活動を要望する」）への対応はいかがでしょうか」とコメントしています。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 教育内容等の改善措置として、教員相互の研究発表によるFD研究会と、FD講演会を実施予定である。
- 授業評価アンケートの集計結果については、学生・教員へのフィードバックのみでなく、個人情報保護に配慮の上、ホームページを活用して公表されている。
- ★ ○学生による授業評価は各教員にフィードバックされ、授業内容の改善に役立てられることを小項目5.0.1に追記する。
「授業評価アンケートの集計結果については、学内のイントラネットで学生・教員へのフィードバックが行われており、さらにFD委員会での議論を踏まえて、専攻会議へのフィードバック、教員への個別のフィードバックが行われている。」